

実践すること”を目指してきました。当時は常勤3名でしたが、紆余曲折を経て常勤医師6名を数えるまでになりました。

埼玉県は人口に対する医師の比率が最も少ないことで知られていますが、中でも泌尿器科専門医は全県で百数十名しかいません。上尾市内および近隣に、救急と手術に対応可能な泌尿器科は当科のみです。例えば那覇市内に泌尿器科が1か所しかない状況をイメージしていただけるでしょうか。

こうした背景から、当科の特色は【地域で唯一の基幹病院である】【症例数が多い】ことであり、【緊急疾患から慢性疾患までGeneral Urologistとしての幅広い対応】【地域住民・一般医家に対しSpecialistであること】【診断から治療までの迅速で正確な対応】が常に要求されています。

数字を上げますと、外来のべ患者数約2,200人/月、入院患者数約22人/日、新規入院約100人/月、年間手術件数約700件および年間ESWL300件を超えています。

このような地域のニーズに応えるべく、ホルミウム・YAGレーザー、TURisシステム、ドルニエ・デルタII ESWL装置などの先端医療機器を導入してきました。

特に2013年10月末に腹腔鏡手術支援ロボット（ダヴィンチSi・システム）を導入、ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘術を1年間で60症例以上に行い順調に推移しています。私にとっては、“50の手習い”でしたが、ダヴィンチ手術については県内最多となることができました。

また、専門医が非常に少ない地域で、一般医家の先生方の協力は不可欠です。医師会と顔のみえる関係を構築し泌尿器科診療を啓発する目的で、「地域連携会」の定期開催、「PSA検診の地域連携パス」の運用などに取り組んでいます。市内で開業されておられる同期の山中秀峰先生にはいつもお世話になっています。

当科は未だ発展途上です。システムティックにできていないことも多く、課題は山積しています。けれど、スタッフはよりよい医療を行いたい意欲にあふれ、それを育成する職場環境があります。最高のチームワークと民間病院ならではの機動性を駆使して、地域の基幹病院たらんことを常にこころがけ、臨床三昧の毎日を送っています。

「なにやってんのかな～、毎日。。」

埼玉医科大学国際医療センター 感染症科・感染制御科 宮里明子

私は4期で卒業し、琉大第一内科に入局後、留学、県立那覇病院、東北大学検査部を経て、2008年

1月より現在の埼玉医科大学国際医療センターの感染症科・感染制御科と感染対策室に勤務し、はや7年目が過ぎようとしています。当センターの感染症科は教授と私の2人ですが、外来診療や入院ベッドはなく、院内の各科よりの感染症のコンサルトに対応し、また本学の学生の感染症教育を担当しています。感染対策室としては室長（前述の教授）と、さらに感染管理認定看護師2人、事務の方1人の5人で院内の感染管理にあたっています。来年当センターはJoint commission international (JCI) の国際基準の認定審査を受けるのですが、感染対策とくに手指衛生（手洗い）は、審査の最重要5項目の1つに掲げられています。病院すべての職員が適切にアルコールや石けんで手洗いができるように、MRSAなどの薬剤耐性菌が病院に広がって感染患者がでないように、教育・啓発を行っています。感染対策という時には煙たがられるものですが、みんなに楽しく手洗いのタイミングを覚えてもらう教育ツールとして、病棟の看護師さんを中心とする有志、また音楽関係の知人の力を借りてビデオを作製中です。嵐のデビュー曲の「A・RA・SHI」を編曲、替え歌「The A・RA・I（て あらい）」としてテーマソングをレコーディングしました。また、院内で勤務する医師、看護師、技師、事務、警備員、清掃業者、スターバックスの店員さんまで、有志60名でテーマソングにあわせて踊るシーンの撮影と、医療とはかけ離れた、わけのわからないことを時々しています。

また最近では、感染対策といっても病院内だけのことでなく、地域の病院を含めて連携をとり、地域全体で耐性菌の問題に取り組むことが求められています。私たちも周辺の8つの病院と連携して3ヶ月に1回会を開き、感染対策について情報交換をしています。その中の病院で耐性菌のアウトブレイクがあれば、ときに保健所とともに訪問し、問題点や解決策などを一緒に考えるようにしています。さらに今、また今後問題となるデング熱、エボラ出血熱、新型インフルエンザなどの感染症に対して院内での対策を考えることも、私たちの役割です。と、病院内では管理の仕事が主になっていますが、外勤として地域の診療所でプライマリケアを行い、市中の感染症の動向を察知したり、予防医学について考えたりしています。埼玉県は住みやすい県です。地震や水害などの天災も少なく、野菜や果物が季節に応じて豊富でおいしいです。私の住んでいるのは川越ですが、近くにいらっしゃる際は是非埼玉までお寄りください。